

平成 19 年(2007 年)年の東北地方の火山活動

仙台管区気象台
火山監視・情報センター

各火山の 2007 年の活動概況

岩木山

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

岩手山

7 月に継続時間は短いが振幅のやや大きな火山性微動が観測されましたが、地震活動、噴気活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過しました。

秋田駒ヶ岳

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

栗駒山

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

吾妻山

地震活動、噴気活動は低調な状態で、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。大穴火口周辺で行った GPS 繰り返し観測では、2006 年 7 月頃から大穴火口付近の浅い所での膨張が認められていましたが、2007 年 4 月以降はほぼ横ばいの状況が続いています。山体での GPS 連続観測には特段の変化は認められませんでした。

安達太良山

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

磐梯山

6 月と 10 月に振幅が小さく継続時間の短い火山性微動が観測されましたが、地震活動、噴気活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過しました。

上記以外の活火山については、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

この資料は、仙台管区気象台火山監視・情報センターが 1 年間の火山活動状況について取りまとめた資料で、毎年 1 月に公表しています。資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.sendai-jma.go.jp/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、東北大学、弘前大学、独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。